

18 家畜・食肉の流通体制の強化

【令和5年度予算概算決定額 2,266（2,942）百万円】
（令和4年度補正予算額 7,003百万円）

＜対策のポイント＞
食肉流通の再編合理化や多角化、家畜取引の高度化等により、食肉等流通構造の高度化及び輸出拡大を図るための取組や整備等に対して支援します。

＜政策目標＞
農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

＜事業の内容＞

1. 食肉流通再編合理化

①食肉流通再編合理化推進事業 3（2.5）百万円
畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の3者でコンソーシアムを組織し、食肉処理施設の再編のための施設整備、家畜の安定的な集出荷、食肉の消費者ニーズの反映等により、流通構造の高度化及び輸出拡大を図るためのコンソーシアム計画の策定やその実現に向けた取組を支援します。

②食肉流通再編合理化施設整備事業 1,970（2,502）百万円
コンソーシアム計画に位置付けられた、食肉処理施設の再編に必要な施設整備、機械導入等を支援します。

3. 食肉需給構造分析調査

食肉需給構造分析調査委託事業 8（8）百万円
我が国畜産物の輸出拡大等を見据えた、将来的な国内及び世界の食肉需給構造の調査・分析を実施します。

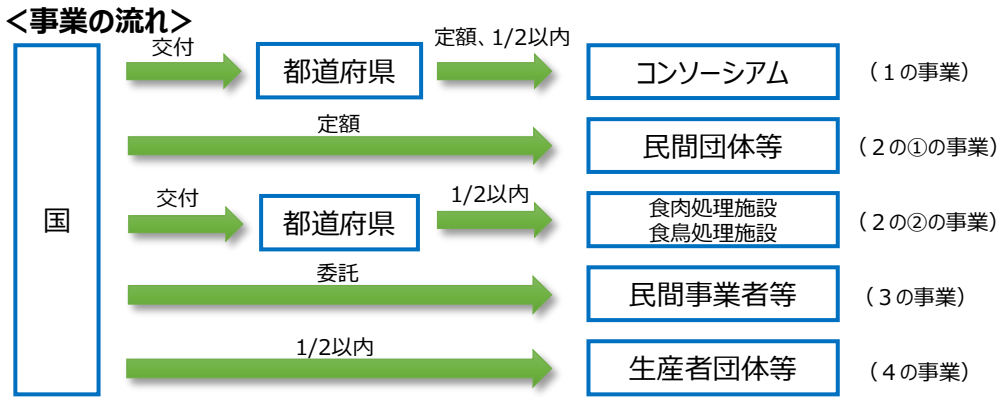
4. 家畜取引の高度化

家畜取引スマート化推進支援事業 55（－）百万円
家畜市場における取引をスマート化（遠隔せりシステム等）することで、利用者の増加・利便性向上や市場運営の省力化等を図り、家畜市場を活性化する取組を支援します。

2. 食肉流通の多角化と輸出拡大

①食肉輸出品目拡大支援事業 80（80）百万円
スライス肉や出荷時期を早期化した牛肉等の新たな輸出製品の輸出拡大を図るための輸出先国における需要・嗜好性調査、試験的輸出、バイヤー等向け試食会の開催などの取組を支援します。

②食肉生産流通多角化施設整備事業 150（350）百万円
部分肉加工まで行う食肉処理施設及び食鳥処理施設における精肉等加工施設・設備等の整備を支援します。



1～4の取組を通じて、輸出目標の達成に向け、食肉等流通構造の高度化・輸出の拡大を図る。

【お問い合わせ先】 畜産局食肉鶏卵課（03-3502-5989）